

#### 県立北摂三田高等学校 2年 部長 クラリネット

当たり前に音楽を創り上げていたあの頃を、もう懐かしく感じています。演奏を聴いていただく機会が激減しました。3 学年揃った合奏はたった数回でした。3 年生は勉強との兼ね合いから例年より 1ヶ月早い休部を選びました。この悔しさは言葉には表せません。しかし、暗い気持ちに覆われている時間はありません。前を向いて進まなければなりません。私たち 2 年生は、まだ入部して数ヶ月の 1 年生を引っ張る必要があります。演奏の機会、合奏をできる時間は、無限では無い。そう知ったはずです。一つの本番を、一つの曲を、そして一つの音を。大切に紡いでいきます。決して一人ではできません。演奏者、指揮者はもちろん、先生、保護者の方々、地域の方々、友達や先輩などがいることで、成り立つ部活です。私たちができるのは、支えてくれる方に感動を届ける演奏をすることです。たくさんの方に応援していただける部活を目指して、これからも進みます。

#### 丹波篠山市立今田中学校 3年 部長

昨年の 11 月、私たちは先輩から今田中学校吹奏楽部のバトンを受け継ぎました。3 月の市内合同の定期演奏会に向け、冬は基礎練習に必死にとりこんでいました。しかし、コロナウィルスの感染拡大により休校となり、演奏会や私たちにとって大きな舞台であるコンクールまでもが中止となりました。本当にショックで練習に気合が入りにくい日々が続く中、学校が再開し新入生が入部してきました。そこで部活動でしか味わえない上下関係や、部員同士がさまざまな音色を出しながら練習する姿に、当たり前だった日常が戻ってきたことが嬉しくて、改めて吹奏楽の楽しさを感じる事ができました。そして「響創～みんなで創る1つの sound～」を目標に新たなスタートを切ることができました。いつかまた皆さんに聞いていただける日を楽しみに練習を頑張ります。

#### 西宮市立上ヶ原中学校 3年 部長

私たち上ヶ原中学校吹奏楽部は、毎年コンクールで金賞をとりたいという思いで練習しています。また、顧問の先生が代り心機一転今年もがんばろうという気持ちの中、休校が続くコンクールの中止も決まりました。部員全員がいろいろな感情であふれたと思います。しかし、私たちは今前向きに活動しています。合奏もまともに出来ない状態ですが、1年生が入部し、新しい風が吹く中、今できることをがんばっています。

「吹奏楽部はいろいろな人に聞いてもらってこそその吹奏楽部」です。金賞という目標はなくなりましたが、感動を与える演奏をするという思いはいつになっても消えません。私たちにしかできない上ヶ原中学校吹奏楽部の演奏をホールいっぱい響かせられるようにがんばります。部員全員で残りの時間を楽しみたいと思います。

#### 宝塚市立高司中学校吹奏楽部 3年 部長

この夏、私たち 3 年生も今までの先輩方のように吹奏楽コンクールに出場して熱い演奏をし、たくさんの方々を前にして演奏会をして引退するものだと思っていました。それが、吹奏楽コンクールが中止になり、最後の演奏会でさえ出来るのかわらないこの状況をなかなか受け入れられませんでした。「どうして今年に限ってこんなことに…」と思うこともあり、ただただ辛かったです。

仲間たちと一緒に舞台上に立てる機会は減ってしまいましたが、今は残り限られた本番に向けて練習をしています。これまで“あたり前”にできていた日々の練習があたりまえでなくなった今、楽器を吹きながら同じ時間を部員全員で共有できていることを、本当に幸せに思っています。引退まであと約 4 か月、貴重な時間を全力で楽しみたいと思います。